

# 損保ジャパン TCW・MBSファンド (毎月分配型)

〈愛称〉 M<sup>2</sup> (エムエム)

第181期 (決算日 2017年10月20日)

最終期 (償還日 2017年11月2日)

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2002年9月27日から2017年11月2日まで (当初、無期限)	
運用方針	<p>①高格付の米国ドル建て住宅ローン債権担保証券 (モーゲージ証券、MBS) を実質的な主要投資対象とします。MBSは、主として住宅ローンを担保に発行された証券です。</p> <p>②実質的な投資対象証券は、米国政府または米国政府系機関保証のもの、またはAA格相当以上の長期格付が付与されている民間発行のものに限ります。また、ポートフォリオの平均格付は高位に維持することを目指し、信用リスクの低減に努めます。</p> <p>③マザーファンドの米国ドルベースの運用は、ブルームバーグ・パークレイズ米国MBSインデックスを上回る収益率の獲得およびリスクの分散を図ることを目指します。なおマザーファンドの米国ドル建てMBS運用にかかる権限を、TCW INVESTMENT MANAGEMENT COMPANYに委託します。</p> <p>④実質米国ドル建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤組入れ債券の利息等収益を中心に、原則として毎月分配を行います。</p>	
主要投資対象	損保ジャパン・TCW・MBSファンド (毎月分配型) 損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド	損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド受益証券 米国ドル建てのMBS
主な組入制限	損保ジャパン・TCW・MBSファンド (毎月分配型) 損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド	MBSの投資において、パススルー証券の元本と金利部分を分離して発行されたPO (Principal Only) およびIO (Interest Only) の実質投資割合は、取得時において各々純資産総額の5%以内とします。 CMOの一種で、クーポンが一定の条件式に従って指標となる市場金利等の動きとは逆の方向に変動するインバース・フロターの実質投資割合は、取得時において純資産総額の15%以内とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益 (評価損益を含みます) 等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。原則として、利子、配当収入等を中心に安定分配を行います。ただし、基準価額水準、市場動向等によっては分配を行わないことがあります。	

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「損保ジャパン・TCW・MBSファンド (毎月分配型)」は、信託約款の規定に基づき、2017年11月2日をもちまして繰上償還いたしました。ここに謹んで設定以来の運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。今後とも当社商品につき引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432

(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

## ■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入率	純資産額
		(分配落)	税金配	込金 期騰落 中率		
第27作成期	157期 (2015年10月20日)	円 8,615	円 10	% △0.1	% 93.3	百万円 334
	158期 (2015年11月20日)	8,789	10	2.1	93.7	335
	159期 (2015年12月21日)	8,656	10	△1.4	95.9	327
	160期 (2016年1月20日)	8,432	10	△2.5	95.2	316
	161期 (2016年2月22日)	8,145	10	△3.3	95.4	305
	162期 (2016年3月22日)	8,050	10	△1.0	95.8	299
第28作成期	163期 (2016年4月20日)	7,879	10	△2.0	94.9	290
	164期 (2016年5月20日)	7,925	10	0.7	94.6	288
	165期 (2016年6月20日)	7,570	10	△4.4	94.5	274
	166期 (2016年7月20日)	7,670	10	1.5	95.8	277
	167期 (2016年8月22日)	7,277	10	△5.0	94.4	263
	168期 (2016年9月20日)	7,356	10	1.2	95.3	266
第29作成期	169期 (2016年10月20日)	7,478	10	1.8	96.6	268
	170期 (2016年11月21日)	7,839	10	5.0	95.8	273
	171期 (2016年12月20日)	8,187	10	4.6	96.2	285
	172期 (2017年1月20日)	8,073	10	△1.3	96.6	268
	173期 (2017年2月20日)	7,936	10	△1.6	96.6	262
	174期 (2017年3月21日)	7,871	10	△0.7	95.1	257
第30作成期	175期 (2017年4月20日)	7,709	10	△1.9	97.3	252
	176期 (2017年5月22日)	7,864	10	2.1	96.6	256
	177期 (2017年6月20日)	8,030	10	2.2	96.5	261
	178期 (2017年7月20日)	8,020	10	0.0	95.2	257
	179期 (2017年8月21日)	7,861	10	△1.9	94.8	244
	180期 (2017年9月20日)	7,991	10	1.8	80.8	246
最終作成期	181期 (2017年10月20日)	8,015	10	0.4	—	244
	(償還日) 2017年11月2日	(償還価額) 8,007.52	0	△0.1	—	244

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり（以下同じ）。

(注3) 債券組入率は、マザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 当ファンドは、マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載していません。

## ■第181期～最終期の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率
			騰	落 率	
第181期	(期 首) 2017年9月20日	円		%	%
	9月末	7,991	—	—	80.8
	(期 末) 2017年10月20日	8,033	0.5	—	—
最 終 期	(期 首) 2017年10月20日	8,025	0.4	—	—
	10月末	8,015	—	—	—
	(償還日) 2017年11月2日	8,009	△0.1	—	—
	(償還日) 2017年11月2日	(償還価額) 8,007.52	△0.1	—	—

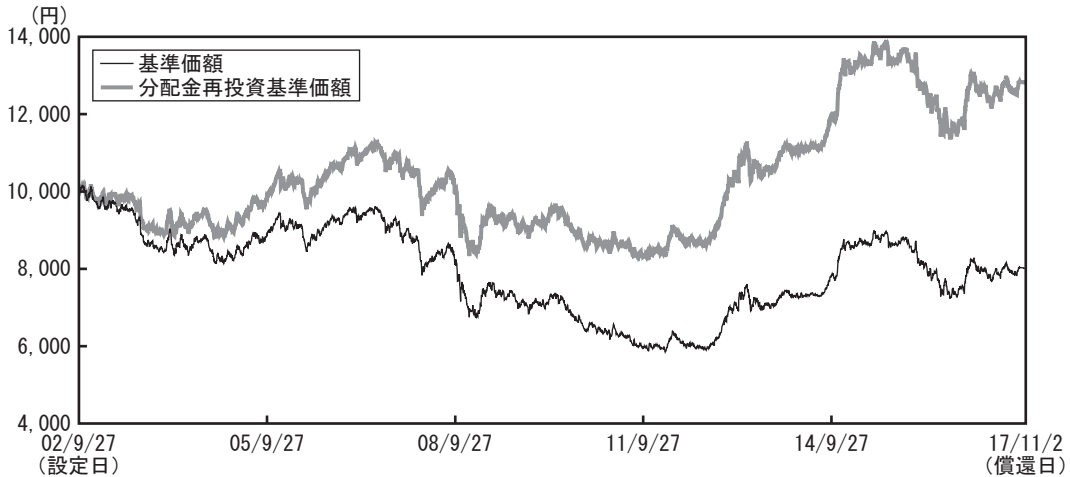
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 債券組入比率は、マザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 当ファンドは、マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

設定以来の運用経過（2002年9月27日（設定日）～2017年11月2日（償還日））

■ 基準価額の推移



設定日：10,000円

償還日：8,007円52銭（期中分配金合計3,692円）

騰落率：28.1%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

（損保ジャパン・TCW・MBSファンド（毎月分配型））

投資している損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドが、実質的な投資対象であるMBSの金利収入等により上昇したことがプラスに寄与しました。

（損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド）（2002年9月27日～2017年11月1日）

期中の騰落率は+59.6%となりました。

保有していたMBSの金利収入等が主にプラスに寄与しました。

■投資環境（2002年9月27日～2017年11月1日※）

○米国MBS市場

MBS利回りは、設定時対比で低下しました。

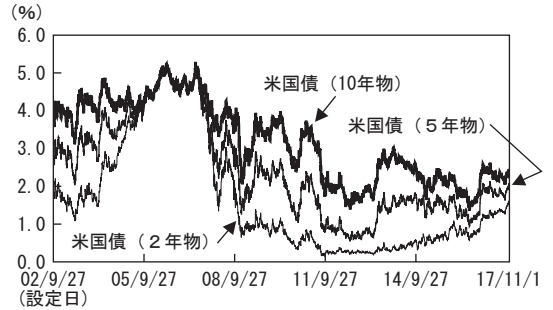
設定時から2006年にかけてのMBS利回りは、雇用関連指標の改善などで米国の経済に回復の兆しが見られたことや、2004年から2006年にかけてFRB（米連邦準備理事会）による利上げが継続して行われたため、緩やかな上昇基調が続きました。

2007年以降のMBS利回りは、低所得者向けのサブプライム住宅ローンの貸し倒れ増加への懸念が高まったことや、FRBが大幅な利下げを継続して行ったことから低下基調となりました。また、2008年9月に大手投資銀行のリーマン・ブラザーズが経営破綻したことなどから世界的な金融危機が発生したため、大きく低下しました。その後も米国の失業率が悪化傾向にあるなど経済が低迷したほか、FRBによる量的金融緩和の実施により、MBS利回りの低下が続きました。

2012年後半から2013年にかけては米国経済の回復期待等から小幅に上昇しましたが、その後はFRBの金融緩和と政策縮小の動向や、インフレに繋がるとされるトランプ大統領の政策動向に左右され、当ファンドの償還を迎えるまで、概ね横ばい圏で推移しました。

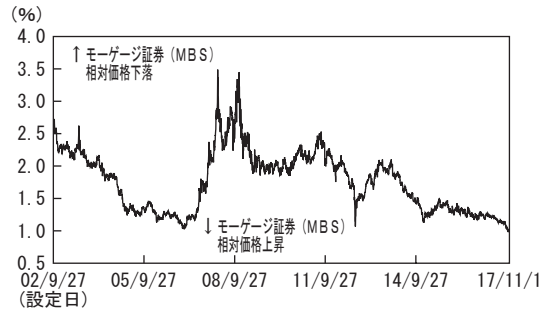
MBS利回りと米5年国債利回りのスプレッドについては、2008年のサブプライム住宅ローンへの懸念や世界的な金融危機発生時に大きく拡大する場面もありましたが、FRBによるMBSの購入等を背景に落ち着きを取り戻し、設定時対比でのスプレッドは縮小しました。

米国債利回りの推移



（出所：Bloomberg）

MBS（30年）と米国債（5年物）の利回り格差



（出所：Bloomberg）

（注）30年物MBSは期限前償還が発生するため、デュレーションが同期限の米国債と比べて短くなります。従って、5年物米国債と比較しております。

## ○為替市場

為替市場（ドル円）は設定時対比で円高ドル安が進行しました。

設定時から2006年にかけては、FRB（米連邦準備理事会）が利上げを開始した一方で、日銀によるゼロ金利政策の継続を背景とした日米金利差や、米国の景気回復期待などから、円安ドル高が進みました。

2007年には、米国で低所得者向けのサブプライム住宅ローンの貸し倒れに対する懸念が高まったことや、その後に発生した世界的な金融危機を背景に米国を中心とした世界経済の先行きが不安視され、円高ドル安が進みました。また、FRBが大幅な利下げを継続して行い日米金利差が縮小したことや、欧州の債務問題の懸念が高まる中で相対的に円が買われたことなどから、円高ドル安が継続して進みました。

2011年後半は、安倍政権が掲げる政策に金融緩和策が盛り込まれ、その後日銀が市場予想を上回る金融緩和策を実施したことをきっかけに、急速に円安ドル高が進みました。その後も米国の景気回復期待が高まったことや、2014年にFRBが量的金融緩和の縮小を決定したことなどから、円安ドル高傾向が続きました。

2016年前半は、中国発の世界同時株安などから投資家のリスク回避志向が強まり、円高ドル安が進行しました。その後は、資源価格の変動、英国のEU（欧州連合）離脱問題、FRBの利上げ動向、米国のトランプ大統領の政策実現の可能性などの材料を睨みながら、為替市場は上下する展開となりました。

※マザーファンドへの投資期間における投資環境を記載しています。

為替レートの推移



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

**■当該投資信託のポートフォリオ**

当ファンドの運用につきましては、損保ジャパン－TCW・MBSマザーファンドの組入比率を高位に維持しました。その後、当ファンドの償還決定を受けてキャッシュ化を進めました。

**（損保ジャパン－TCW・MBSマザーファンド）（2002年9月27日～2017年11月1日）**

当マザーファンドは米国ドルベースでベンチマークを上回るリターンを獲得を目指しました。当マザーファンドのデュレーションは、ベンチマークのデュレーションに対して、上下1.5年の範囲内に維持することを基本としており、金利低下が見込まれる局面でデュレーションを長期化する一方で、金利上昇が見込まれる局面ではデュレーションを短期化しました。その後、当ファンドの償還決定を受けてキャッシュ化を進めました。

## ■当該投資信託のベンチマークとの差異

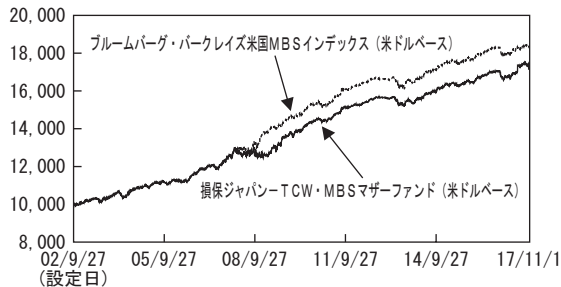
当ファンドは、マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。以下ではマザーファンドとベンチマークとの差異についてご説明します。

### ＜損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドとベンチマークとの差異＞

損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドの米ドルベースの騰落率（2002年9月27日～2017年11月1日）は+71.6%となり、ベンチマークである「ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス」の米ドルベースの騰落率+83.9%を下回りました。

デュレーション要因等がマイナスに寄与しました。

### 損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドとブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックスの推移（米ドルベース）



(注) 「損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド」の基準価額（米ドルベース）とブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス\*（米ドルベース）を比較し、期首を10,000として委託会社にて指数化したものを使用しております。

マザーファンドの基準価額（米ドルベース）は、各基準日の基準価額を当日の為替レート（対顧客電信売買相場の仲値）を用いて委託会社が独自に換算したものを使用しております。

なお、各基準日のベンチマークは、基準価額の算出方法に合わせて各基準日の前営業日の数値を使用しております。

※ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、エージェンシー発行のMBS市場のパフォーマンスをあらわします。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ビーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

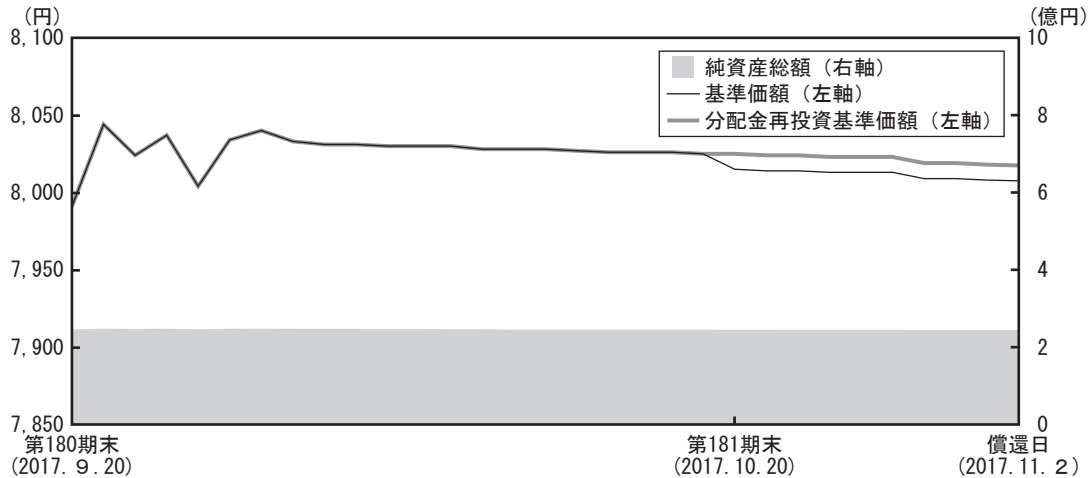


**■分配金**

収益分配金については、基準価額水準、市場動向等を勘案し、第1期は20円（1万口当たり、以下同じ。）、第2期～第12期は各35円、第13期は30円、第14期は20円、第15期は23円、第16期～第20期は各21円、第21期は23円、第22期は22円、第23期～第25期は各23円、第26期～第35期は各21円、第36期～第115期は各25円、第116期～第117期は各20円、第118期～第138期は各15円、第139期～第181期は各10円、合計3,692円の分配を行いました。

最終作成期の運用経過（2017年9月21日～2017年11月2日（償還日））

■ 基準価額の推移



第181期首：7,991円

償還時：8,007円52銭（期中分配金合計10円）

騰落率：0.3%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額の推移は、2017年9月20日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

■ 基準価額の変動要因

（損保ジャパン・TCW・MBSファンド（毎月分配型））

投資している損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドが為替要因等により上昇したことがプラスに寄与しました。

（損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド）（2017年9月21日～2017年11月1日）

期中の騰落率は+0.5%となりました。

円安ドル高が進んだことによる為替要因等が主にプラスに寄与しました。

■投資環境（2017年9月21日～2017年11月1日※）

○米国MBS市場

MBS利回りは前期末と比べて同水準となりました。

9月下旬から10月上旬にかけてはトランプ政権による税制改革期待の高まりや、市場予想を大きく上回る9月のISM非製造業景気指数が発表されたことを背景に、上昇しました。

また10月後半には、米国のGDP（国内総生産）成長率が市場予想を上回ったことや、2018年度の予算案が米国議会で可決され、税制改革への期待がよりいっそう高まったことなどから、MBS利回りは上昇基調が続きました。

10月の月末付近には、FRB（米連邦準備理事会）次期議長は利上げに慎重なパウエル氏が有力であるとの報道を受けて、MBS利回りは小幅に低下しました。

MBS利回りと米国5年国債利回りの格差は、好調な米国住宅市況等を背景に、前期末比で小幅に縮小しました。

○為替市場

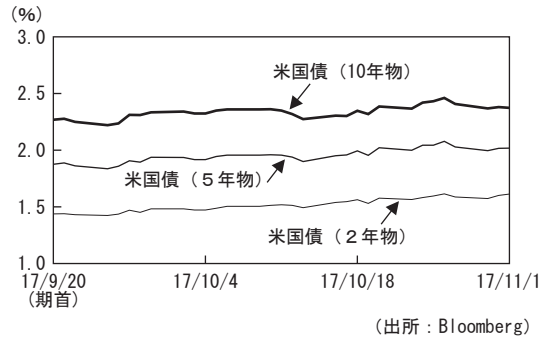
為替市場（ドル円）は円安ドル高が進行しました。

期初から10月上旬にかけては、米国の堅調な経済指標や、トランプ政権による税制改革期待の高まりを背景とした米国金利の上昇等を背景に、円安ドル高基調で進みました。

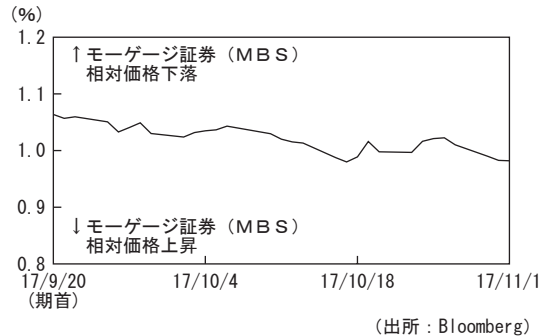
10月中旬以降も、堅調な米国の経済指標や株式市場の上昇に加えて、トランプ政権による税制改革期待の高まり等を背景に米国の長期金利が上昇したことなどをを受けて、円安ドル高が進みました。

※マザーファンドへの投資期間における投資環境を記載しています。

米国債利回りの推移



MBS（30年）と米国債（5年物）の利回り格差



(注) 30年物MBSは期限前償還が発生するため、デュレーションが同期限の米国債と比べて短くなります。従って、5年物米国債と比較しております。

為替レートの推移



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

**■当該投資信託のポートフォリオ**

当ファンドの運用につきましては、損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドの組入比率を高位に維持しました。その後、当ファンドの償還決定を受けて、キャッシュ化を進めました。

**（損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド）（2017年9月21日～2017年11月1日）**

当マザーファンドは米国ドルベースで「ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス」を上回るリターンを獲得を目指しました。

当マザーファンドのデュレーションは、「ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス」のデュレーションに対して、上下1.5年の範囲内に維持することを基本としております。デュレーションの推移については、総じてベンチマークに対して短めのデュレーションを維持しました。その後、当ファンドの償還決定を受けて、キャッシュ化を進めました。

## ■当該投資信託のベンチマークとの差異

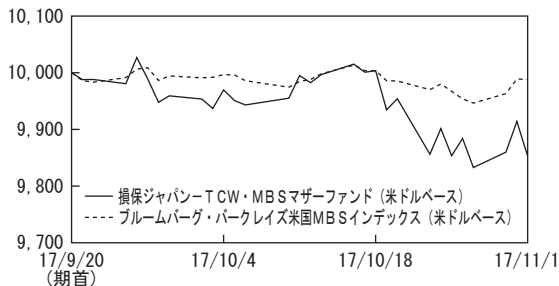
当ファンドは、マザーファンドでベンチマークを設定し比較しているため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。以下ではマザーファンドとベンチマークとの差異についてご説明します。

### ＜損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドとベンチマークとの差異＞

当期の損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドの米ドルベースの騰落率（2017年9月21日～2017年11月1日）は-1.5%となり、ベンチマークである「ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス」の米ドルベースの騰落率-0.1%を下回りました。

当ファンドの償還決定を受けて円キャッシュ化を進めたことで、その後の円安ドル高の恩恵を享受できなかったことがマイナスに寄与しました。

### 損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドとブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックスの推移（米ドルベース）



(注) 「損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド」の基準価額（米ドルベース）とブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス\*（米ドルベース）を比較し、期首を10,000として委託会社にて指数化したものを使用しております。

マザーファンドの基準価額（米ドルベース）は、各基準日の基準価額を当日の為替レート（対顧客電信売買相場の仲値）を用いて委託会社が独自に換算したものを使用しております。

なお、各基準日のベンチマークは、基準価額の算出方法に合わせて各基準日の前営業日の数値を使用しております。

※ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、エージェンシー発行のMBS市場のパフォーマンスをあらわします。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

## ■分配金

収益分配金については、基準価額水準、市場動向等を勘案し、合計で10円の分配を行いました。

### <分配原資の内訳>

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第181期
	2017年9月21日～2017年10月20日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.12%
当期の収益	2
当期の収益以外	7
翌期繰越分配対象額	234

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### <償還を迎えて>

当ファンドは、2017年11月2日をもちまして信託期間を終了し、繰上償還とさせていただくこととなりました。受益者のみなさまのご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

**■ 1万口当たりの費用明細**

項目	第181期～最終期		項目の概要
	(2017年9月21日～2017年11月2日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	14円	0.173%	(a) 信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は8,020円です。
（投信会社）	（7）	（0.089）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（6）	（0.076）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（1）	（0.007）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	3	0.041	(b) その他費用＝ $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	（3）	（0.040）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（0）	（0.000）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（0）	（0.000）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	17	0.213	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況

（2017年9月21日から2017年11月2日まで）

	第 181 期 ~ 最 終 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
損保ジャパン・TCW・MBS マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 109,563	千円 245,053

（注1）単位未満は切捨て。

（注2）金額は受渡代金。

■利害関係人との取引状況（2017年9月21日から2017年11月2日まで）

当ファンド及びマザーファンドにおける第181期～最終期中の利害関係人との取引はございません。

■組入資産の明細

○親投資信託残高

（2017年11月2日現在）

項 目	期 首 (第180期末)	償 還 時	
	口 数	口 数	評 価 額
損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド	千口 109,563	千口 —	千円 —

（注1）当ファンドは6ヶ月未満決算ファンドであるため、本運用報告書は第181期から最終期までを作成期としております。

（注2）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

（2017年11月2日現在）

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 244,817	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	244,817	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。



**■資産、負債、元本および基準価額の状況**

項 目	(2017年10月20日現在)		(2017年11月2日現在)	
	第 181 期 末	償 還 時	第 181 期 末	償 還 時
a 資産	245,506,379円	244,817,364円	245,506,379円	244,817,364円
コール・ローン等	102,579,460	244,817,364	102,579,460	244,817,364
損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド(評価額)	142,926,919	—	142,926,919	—
b 負債	603,150	140,605	603,150	140,605
未払収益分配金	305,556	—	305,556	—
未払信託報酬	297,588	137,919	297,588	137,919
未払利息	—	2,680	—	2,680
その他未払費用	6	6	6	6
c 純資産総額(a - b)	244,903,229	244,676,759	244,903,229	244,676,759
元本	305,556,942	305,558,558	305,556,942	305,558,558
次期繰越損益金	△ 60,653,713	—	△ 60,653,713	—
償還差損益金	—	△ 60,881,799	—	△ 60,881,799
d 受益権総口数	305,556,942口	305,558,558口	305,556,942口	305,558,558口
1万口当たり基準価額(c / d)	8,015円	0	8,015円	0
1万口当たり償還価額(c / d)	—	8,007円52銭	—	8,007円52銭

(注1) 期末における1口当たりの純資産総額

第181期0.8015円、償還時0.800752円

(注2) 期末における元本の欠損金額

第181期60,653,713円、償還時60,881,799円

**■損益の状況**

項 目	自2017年9月21日 至2017年10月20日		自2017年10月21日 至2017年11月2日	
	第 181 期	最 終 期	第 181 期	最 終 期
a 配当等収益	△ 411円	△ 6,197円	△ 411円	△ 6,197円
支払利息	△ 411	△ 6,197	△ 411	△ 6,197
b 有価証券売買損益	1,349,437	△ 83,647	1,349,437	△ 83,647
売買益	1,358,634	—	1,358,634	—
売買損	△ 9,197	△ 83,647	△ 9,197	△ 83,647
c 信託報酬等	△ 297,606	△ 137,919	△ 297,606	△ 137,919
d 当期損益金(a + b + c)	1,051,420	△ 227,763	1,051,420	△ 227,763
e 前期繰越損益金	△49,373,928	△48,628,064	△49,373,928	△48,628,064
f 追加信託差損益金	△12,025,649	△12,025,972	△12,025,649	△12,025,972
(配当等相当額)	( 513,972)	( 514,013)	( 513,972)	( 514,013)
(売買損益相当額)	(△12,539,621)	(△12,539,985)	(△12,539,621)	(△12,539,985)
g 合計(d + e + f)	△60,348,157	△60,881,799	△60,348,157	△60,881,799
h 収益分配金	△ 305,556	—	△ 305,556	—
次期繰越損益金(g + h)	△60,653,713	—	△60,653,713	—
償還差損益金(g + h)	—	△60,881,799	—	△60,881,799
追加信託差損益金	△12,025,649	—	△12,025,649	—
(配当等相当額)	( 513,975)	( —)	( 513,975)	( —)
(売買損益相当額)	(△12,539,624)	( —)	(△12,539,624)	( —)
分配準備積立金	6,651,201	—	6,651,201	—
繰越損益金	△55,279,265	—	△55,279,265	—

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 当ファンドが支払った損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドの運用の指図に係わる権限を委託するために要した費用は87,138円です。(2017年9月21日から2017年11月2日まで)

注記事項（第181期～最終期）

第181期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額 308,006,881円

期中追加設定元本額 13,489円

期中一部解約元本額 2,463,428円

- ・分配金の計算過程

計算期間末に、経費控除後の配当等収益（63,163円）（本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む）、収益調整金（513,975円）及び分配準備積立金（6,893,594円）を対象収益（7,470,732円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から63,163円、分配準備積立金から242,393円の合計305,556円（1万口当たり10円）を分配に充てることに決定しました。

最終期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額 305,556,942円

期中追加設定元本額 1,616円

期中一部解約元本額 0円

**■投資信託財産運用総括表**

信託期間	投資信託契約締結日	2002年9月27日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年11月2日		資産総額	244,817,364円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	140,605円
受益権口数	3,964,288,048口	305,558,558口	△3,658,729,490口	純資産総額	244,676,759円
元本額	3,964,288,048円	305,558,558円	△3,658,729,490円	受益権口数	305,558,558口
				1万口当たり償還金	8,007円52銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たりの分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第61期	1,818,374,516	1,655,535,893	9,104	25	0.25
第62期	1,786,289,074	1,579,189,175	8,841	25	0.25
第63期	1,770,357,463	1,597,072,807	9,021	25	0.25
第64期	1,750,152,398	1,529,016,776	8,736	25	0.25
第65期	1,732,513,675	1,514,774,640	8,743	25	0.25
第66期	1,719,518,292	1,379,458,601	8,022	25	0.25
第67期	1,654,023,863	1,351,548,325	8,171	25	0.25
第68期	1,642,343,761	1,360,762,543	8,285	25	0.25
第69期	1,629,028,369	1,372,986,704	8,428	25	0.25
第70期	1,564,881,607	1,297,288,221	8,290	25	0.25
第71期	1,541,409,152	1,325,893,657	8,602	25	0.25
第72期	1,478,054,064	1,224,673,396	8,286	25	0.25
第73期	1,455,735,435	1,134,749,411	7,795	25	0.25
第74期	1,430,457,503	1,054,063,205	7,369	25	0.25
第75期	1,411,254,706	981,377,305	6,954	25	0.25
第76期	1,380,402,380	950,561,668	6,886	25	0.25
第77期	1,371,505,307	972,643,841	7,092	25	0.25
第78期	1,348,554,494	981,501,949	7,278	25	0.25
第79期	1,317,509,520	1,002,198,220	7,607	25	0.25
第80期	1,301,007,338	962,890,019	7,401	25	0.25
第81期	1,279,086,190	932,296,333	7,289	25	0.25
第82期	1,233,032,309	890,207,027	7,220	25	0.25
第83期	1,199,905,859	887,969,853	7,400	25	0.25
第84期	1,170,384,804	836,582,863	7,148	25	0.25
第85期	1,147,397,903	817,666,740	7,126	25	0.25
第86期	1,101,052,765	773,565,980	7,026	25	0.25
第87期	1,067,904,608	758,850,185	7,106	25	0.25
第88期	1,044,934,687	745,238,910	7,132	25	0.25
第89期	1,010,924,890	724,778,641	7,169	25	0.25
第90期	988,385,329	700,226,584	7,085	25	0.25
第91期	970,672,763	701,614,024	7,228	25	0.25
第92期	956,547,820	694,117,548	7,256	25	0.25
第93期	947,883,750	678,579,131	7,159	25	0.25
第94期	924,232,687	635,275,194	6,874	25	0.25
第95期	905,922,718	610,688,630	6,741	25	0.25

計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 万 口 当 た り の 分 配 金	
				金 額	分 配 率
第 96 期	円 902,886,474	円 610,208,719	円 6,758	円 25	% 0.25
第 97 期	895,229,767	576,405,368	6,439	25	0.25
第 98 期	868,012,958	569,883,789	6,565	25	0.25
第 99 期	849,693,823	554,645,990	6,528	25	0.25
第 100 期	848,480,350	540,910,858	6,375	25	0.25
第 101 期	830,599,073	531,387,097	6,398	25	0.25
第 102 期	830,740,005	519,788,441	6,257	25	0.25
第 103 期	818,542,922	523,317,836	6,393	25	0.25
第 104 期	814,068,322	514,759,905	6,323	25	0.25
第 105 期	812,487,175	504,638,566	6,211	25	0.25
第 106 期	775,569,954	475,293,629	6,128	25	0.25
第 107 期	763,424,704	457,595,797	5,994	25	0.25
第 108 期	762,329,336	455,680,502	5,977	25	0.25
第 109 期	749,943,521	445,895,968	5,946	25	0.25
第 110 期	738,923,514	438,382,475	5,933	25	0.25
第 111 期	727,854,449	437,742,207	6,014	25	0.25
第 112 期	721,967,315	428,260,666	5,932	25	0.25
第 113 期	687,367,695	417,872,366	6,079	25	0.25
第 114 期	687,838,057	436,284,692	6,343	25	0.25
第 115 期	676,307,660	419,747,499	6,206	25	0.25
第 116 期	666,233,959	400,820,705	6,016	20	0.20
第 117 期	660,851,246	395,549,890	5,985	20	0.20
第 118 期	651,094,807	389,966,731	5,989	15	0.15
第 119 期	644,829,801	388,354,449	6,023	15	0.15
第 120 期	613,899,395	364,814,433	5,943	15	0.15
第 121 期	593,487,387	356,482,098	6,007	15	0.15
第 122 期	581,643,937	357,276,325	6,143	15	0.15
第 123 期	570,223,387	360,905,145	6,329	15	0.15
第 124 期	568,839,333	382,527,143	6,725	15	0.15
第 125 期	564,283,426	393,260,896	6,969	15	0.15
第 126 期	544,993,670	387,265,434	7,106	15	0.15
第 127 期	541,976,785	400,447,025	7,389	15	0.15
第 128 期	538,257,660	407,166,098	7,565	15	0.15
第 129 期	531,857,629	372,519,964	7,004	15	0.15
第 130 期	526,040,794	378,086,448	7,187	15	0.15
第 131 期	518,962,334	360,168,364	6,940	15	0.15
第 132 期	509,103,541	362,772,073	7,126	15	0.15
第 133 期	507,019,767	357,797,714	7,057	15	0.15
第 134 期	494,983,763	355,577,752	7,184	15	0.15
第 135 期	490,502,995	362,116,326	7,383	15	0.15
第 136 期	474,345,289	351,069,147	7,401	15	0.15
第 137 期	467,766,209	340,977,496	7,289	15	0.15
第 138 期	459,645,581	334,130,948	7,269	15	0.15

計 算 期	元 本 額	純 資 産 総 額	基 準 価 額	1 万 口 当 た り の 分 配 金	
				金 額	分 配 率
	円	円	円	円	%
第 139 期	452,254,695	330,442,523	7,307	10	0.10
第 140 期	451,434,467	329,114,063	7,290	10	0.10
第 141 期	449,245,552	329,045,522	7,324	10	0.10
第 142 期	443,752,460	323,523,014	7,291	10	0.10
第 143 期	442,093,451	327,683,435	7,412	10	0.10
第 144 期	429,879,170	335,295,746	7,800	10	0.10
第 145 期	427,028,366	331,244,477	7,757	10	0.10
第 146 期	417,160,519	355,110,881	8,513	10	0.10
第 147 期	413,521,706	356,867,813	8,630	10	0.10
第 148 期	411,615,508	352,406,672	8,562	10	0.10
第 149 期	408,924,397	351,926,815	8,606	10	0.10
第 150 期	416,366,718	363,947,972	8,741	10	0.10
第 151 期	400,936,910	346,283,773	8,637	10	0.10
第 152 期	399,370,651	347,763,903	8,708	10	0.10
第 153 期	397,791,185	350,207,703	8,804	10	0.10
第 154 期	397,528,398	353,373,065	8,889	10	0.10
第 155 期	395,063,157	351,099,565	8,887	10	0.10
第 156 期	391,325,948	337,940,918	8,636	10	0.10
第 157 期	388,427,841	334,633,779	8,615	10	0.10
第 158 期	381,945,470	335,691,717	8,789	10	0.10
第 159 期	378,175,411	327,346,030	8,656	10	0.10
第 160 期	375,136,977	316,322,214	8,432	10	0.10
第 161 期	375,092,321	305,522,565	8,145	10	0.10
第 162 期	372,322,518	299,729,266	8,050	10	0.10
第 163 期	368,190,554	290,089,183	7,879	10	0.10
第 164 期	363,971,243	288,448,860	7,925	10	0.10
第 165 期	362,806,600	274,627,904	7,570	10	0.10
第 166 期	362,302,406	277,879,256	7,670	10	0.10
第 167 期	362,020,237	263,449,094	7,277	10	0.10
第 168 期	361,769,429	266,127,875	7,356	10	0.10
第 169 期	358,429,445	268,021,738	7,478	10	0.10
第 170 期	348,395,707	273,108,909	7,839	10	0.10
第 171 期	348,217,978	285,094,137	8,187	10	0.10
第 172 期	332,270,882	268,229,632	8,073	10	0.10
第 173 期	330,457,692	262,258,736	7,936	10	0.10
第 174 期	327,751,328	257,956,762	7,871	10	0.10
第 175 期	327,358,654	252,355,713	7,709	10	0.10
第 176 期	326,159,216	256,495,830	7,864	10	0.10
第 177 期	325,456,221	261,334,017	8,030	10	0.10
第 178 期	320,616,828	257,123,207	8,020	10	0.10
第 179 期	310,825,684	244,331,989	7,861	10	0.10
第 180 期	308,006,881	246,113,337	7,991	10	0.10
第 181 期	305,556,942	244,903,229	8,015	10	0.10

## ■分配金のお知らせ

	第181期
1万口当たり分配金（税引前）	10円

### <分配金をお支払いする場合>

- ・分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

### <分配金を再投資する場合>

- ・お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

### <課税上の取扱いについて>

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者に対する課税  
 税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

## ■償還金のお知らせ

1万口当たりの償還金（税引前）	8,007円52銭
-----------------	-----------

# 損保ジャパン-T CW・MBS マザーファンド

## 繰上償還 運用報告書

最終期（償還日 2017年11月1日）

<計算期間 2016年11月9日～2017年11月1日>

損保ジャパン-T CW・MBS マザーファンドの設定以来の運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。

### ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	1998年10月30日から2017年11月1日まで（当初、無期限）
運用方針	信託財産の中長期的成長を目指して、積極的な運用を行います。 主として米国ドル建のMBSに分散投資し、米国ドルベースでブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックスを上回る収益率の獲得およびリスクの分散を図ることを目指します。 運用にあたっては、TCW INVESTMENT MANAGEMENT COMPANY（米国）に米国ドル建MBSの運用指図に関する権限を委託します。
主要投資対象	米国ドル建のMBS
主な組入制限	MBSの投資において、パススルー証券の元本と金利部分を分離して発行されたPOおよびIOの組入れは、取得時において各々純資産総額の5%以内とします。 CMOの一種で、クーポンが一定の条件式に従って指標となる市場金利等の動きとは逆の方向に変動するインバース・フローターの組入れは、取得時において純資産総額の15%以内とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■最近10期の運用実績

<参考>基準価額とベンチマーク比較(米ドルベース)

決算期	基準価額		債券 組入比率	純資産 総額	基準価額(米ドルベース) (設定日=10,000)		ベンチマーク (設定日=10,000)	
	円	騰落率			騰落率	騰落率		
10期(2008年11月10日)	14,281	% △11.6	96.7	百万円 5,287	16,772	% 0.6	17,498	% 6.7
11期(2009年11月9日)	14,049	△1.6	97.1	3,304	18,200	8.5	19,240	10.0
12期(2010年11月8日)	13,536	△3.7	97.4	2,361	19,409	6.6	20,448	6.3
13期(2011年11月8日)	13,534	△0.0	93.2	1,741	20,199	4.1	21,321	4.3
14期(2012年11月8日)	14,353	6.1	97.4	1,496	20,909	3.5	22,034	3.3
15期(2013年11月8日)	17,455	21.6	98.5	1,446	20,701	△1.0	21,923	△0.5
16期(2014年11月10日)	21,113	21.0	96.7	1,306	21,508	3.9	22,896	4.4
17期(2015年11月9日)	23,183	9.8	93.2	1,240	21,903	1.8	23,329	1.9
18期(2016年11月8日)	20,394	△12.0	97.1	890	22,732	3.8	24,222	3.8
(償還日) 2017年11月1日	(償還価額) 22,360.9	9.6	—	425	22,879	0.7	24,341	0.5

(注1) 基準価額は1万口当たり(以下同じ)。

(注2) 当ファンドのベンチマークはブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス<sup>®</sup>(米ドルベース)を使用しております。

(注3) 当ファンドのベンチマークはブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス(米ドルベース)を使用しているため基準価額(円ベース)との比較は行っておりません。

参考として、ファンド設定日を10,000として委託会社にて指数化した当ファンドの米ドルベースの基準価額と米ドルベースのブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックスを掲載しております。

※ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、エージェンシー発行のMBS市場のパフォーマンスをあらわします。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ビーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ビーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ビーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。(以下同じ)

■当期中の基準価額と市況等の推移

<参考>基準価額とベンチマーク比較(米ドルベース)

年月日	基準価額		債券 組入比率	基準価額(米ドルベース) (設定日=10,000)		ベンチマーク (設定日=10,000)	
	円	騰落率		騰落率	騰落率		
(期首) 2016年11月8日	20,394	% —	97.1	22,732	% —	24,222	% —
11月末	21,586	5.8	96.8	22,369	△1.6	23,836	△1.6
12月末	22,253	9.1	97.0	22,255	△2.1	23,729	△2.0
2017年1月末	21,809	6.9	97.3	22,324	△1.8	23,761	△1.9
2月末	21,686	6.3	97.3	22,445	△1.3	23,899	△1.3
3月末	21,589	5.9	96.9	22,418	△1.4	23,871	△1.4
4月末	21,562	5.7	95.3	22,571	△0.7	24,041	△0.7
5月末	21,596	5.9	97.2	22,674	△0.3	24,197	△0.1
6月末	22,214	8.9	94.9	23,107	1.6	24,151	△0.3
7月末	21,929	7.5	97.1	23,151	1.8	24,222	0.0
8月末	22,065	8.2	96.9	23,280	2.4	24,375	0.6
9月末	22,378	9.7	—	23,126	1.7	24,357	0.6
10月末	22,361	9.6	—	23,021	1.3	24,343	0.5
(償還日) 2017年11月1日	(償還価額) 22,360.9	9.6	—	22,879	0.7	24,341	0.5

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドのベンチマークはブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス(米ドルベース)を使用しております。

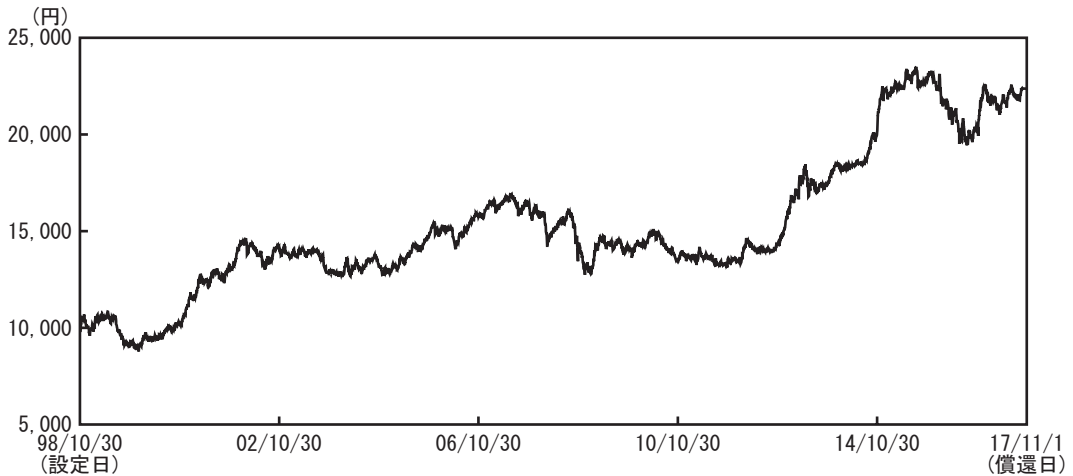
(注3) 当ファンドのベンチマークはブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス(米ドルベース)を使用しているため基準価額(円ベース)との比較は行っておりません。

参考として、ファンド設定日を10,000として委託会社にて指数化した当ファンドの米ドルベースの基準価額と米ドルベースのブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックスを掲載しております。



設定以来の運用経過（1998年10月30日（設定日）～2017年11月1日（償還日））

■ 基準価額の推移



設定日：10,000円  
 償還日：22,360円90銭  
 騰落率：123.6%

■ 基準価額の主な変動要因

期中の騰落率は+123.6%となりました。

保有していたMBSの金利収入等が主にプラスに寄与しました。

## ■投資環境

### ○米国MBS市場

MBS利回りは、設定時対比で低下しました。

設定時から2003年6月までのMBS利回りは、米国を中心にIT関連企業の株価が大幅に下落したことや、2001年9月に米国で発生した同時多発テロ事件に伴う地政学リスクの高まりに加えて、FRB（米連邦準備理事会）による利下げの継続などを背景に、低下しました。

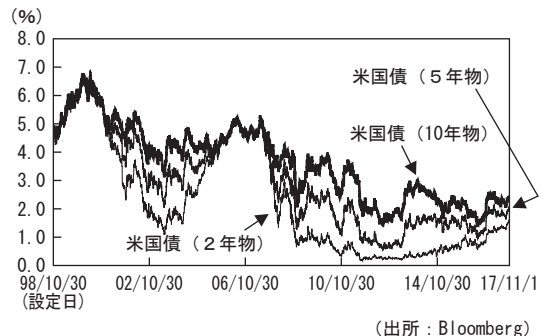
その後は雇用関連指標の改善などで米国の経済に回復の兆しが見られたことや、2004年から2006年にかけてFRBによる利上げが継続して行われたため、緩やかな上昇基調が続きました。

2007年以降のMBS利回りは、低所得者向けのサブプライム住宅ローンの貸し倒れ増加への懸念が高まったことや、FRBが大幅な利下げを継続して行ったことから低下基調となりました。また、2008年9月に大手投資銀行のリーマン・ブラザーズが経営破綻したことなどから世界的な金融危機が発生したため、大きく低下しました。その後も米国の失業率が悪化傾向にあるなど経済が低迷したほか、FRBによる量的金融緩和の実施により、MBS利回りの低下が続きました。

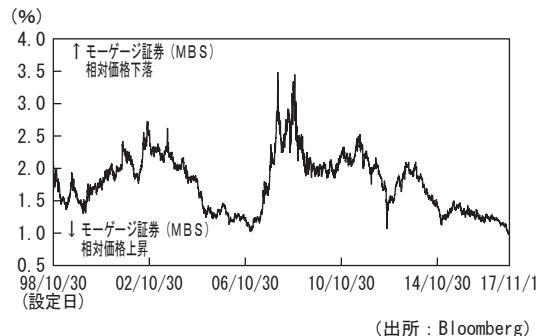
2012年後半から2013年にかけては米国経済の回復期待等から小幅に上昇しましたが、その後はFRBの金融緩和と政策縮小の動向や、インフレに繋がるとされるトランプ大統領の政策動向に左右され、当ファンドの償還を迎えるまで、概ね横ばい圏で推移しました。

MBS利回りと米5年国債利回りのスプレッドについては、2008年のサブプライム住宅ローンへの懸念や世界的な金融危機発生時に大きく拡大する場面もありましたが、FRBによるMBSの購入等を背景に落ち着きを取り戻し、設定時対比でのスプレッドは縮小しました。

米国債利回りの推移



MBS（30年）と米国債（5年物）の利回り格差



(注) 30年物MBSは期限前償還が発生するため、デューレーションが同期限の米国債と比べて短くなります。従って、5年物米国債と比較しております。

## ○為替市場

為替市場（ドル円）は設定時対比で円高ドル安が進行しました。

設定時から2001年にかけては、日銀によるゼロ金利政策の実施などを背景に、円安ドル高が進みました。しかしその後、米国を中心としたIT関連企業の株価が大幅に下落したことや、米国で同時多発テロが発生したことなどからドルが売られた一方で、安全資産とされる円が買われたため円高ドル安が進みました。

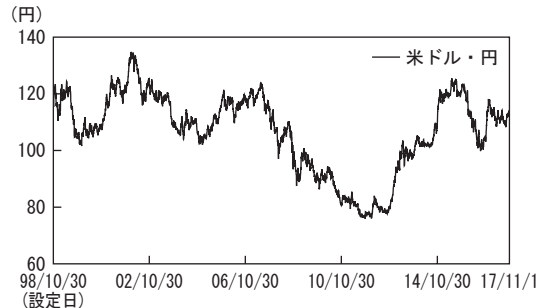
2004年には、FRB（米連邦準備理事会）が利上げを開始した一方で、日銀によるゼロ金利政策の継続を背景とした日米金利差や、米国の景気回復期待などから、円安ドル高が進みました。

2007年には、米国で低所得者向けのサブプライム住宅ローンの貸し倒れに対する懸念が高まったことや、その後に発生した世界的な金融危機を背景に米国を中心とした世界経済の先行きが不安視され、円高ドル安が進みました。また、FRBが大幅な利下げを継続して行い日米金利差が縮小したことや、欧州の債務問題の懸念が高まる中で相対的に円が買われたことなどから、円高ドル安が継続して進みました。

2011年後半は、安倍政権が掲げる政策に金融緩和策が盛り込まれ、その後日銀が市場予想を上回る金融緩和策を実施したことをきっかけに、急速に円安ドル高が進みました。その後も米国の景気回復期待が高まったことや、2014年にFRBが量的金融緩和の縮小を決定したことなどから、円安ドル高傾向が続きました。

2016年前半は、中国発の世界同時株安などから投資家のリスク回避志向が強まり、円高ドル安が進行しました。その後は、資源価格の変動、英国のEU（欧州連合）離脱問題、FRBの利上げ動向、米国のトランプ大統領の政策実現の可能性などの材料を睨みながら、為替市場は上下する展開となりました。

為替レートの推移



（出所：Bloomberg）

（注）為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

## ■当該投資信託のポートフォリオ

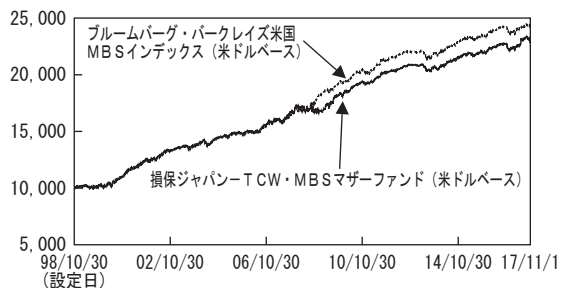
当マザーファンドは米国ドルベースでベンチマークを上回るリターンを獲得を目指しました。当マザーファンドのデュレーションは、ベンチマークのデュレーションに対して、上下1.5年の範囲内に維持することを基本としており、金利低下が見込まれる局面でデュレーションを長期化する一方で、金利上昇が見込まれる局面ではデュレーションを短期化しました。その後、当ファンドの償還決定を受けてキャッシュ化を進めました。

## ■当該投資信託のベンチマークとの差異

「損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド」の米ドルベースの騰落率（1998年10月30日～2017年11月1日）は+128.8%となり、ベンチマークである「ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス」の米ドルベースの騰落率+143.4%を下回りました。

デュレーション要因等がマイナスに寄与しました。

損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンドとブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックスの推移（米ドルベース）



(注) 「損保ジャパン・TCW・MBSマザーファンド」の基準価額（米ドルベース）とブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックス\*（米ドルベース）を比較し、期首を10,000として委託会社にて指数化したものを使用しております。

マザーファンドの基準価額（米ドルベース）は、各基準日の基準価額を当日の為替レート（対顧客電信売買相場の仲値）を用いて委託会社が独自に換算したものを使用しております。

なお、各基準日のベンチマークは、基準価額の算出方法に合わせて各基準日の前営業日の数値を使用しております。

※ブルームバーグ・バークレイズ米国MBSインデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、エージェンシー発行のMBS市場のパフォーマンスをあらわします。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ビーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ビーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ビーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

## <償還を迎えて>

当ファンドは、2017年11月1日をもちまして信託期間を終了し、繰上償還とさせていただきますとなりました。受益者のみなさまのご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

## ■ 1万口当たりの費用明細

(2016年11月9日から2017年11月1日まで)

項 目	
そ の 他 費 用	25円
(保 管 費 用)	(25)
(そ の 他)	( 0)
合 計	25

(注) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については14ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

## ■ 売買及び取引の状況

### ○ 公社債

(2016年11月9日から2017年11月1日まで)

		買 付 額	売 付 額
外 国	アメリ カ	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
	国 債 証 券	4,984	6,511 ( -)
	特 殊 債 券	25,413	31,263 ( 722)

- (注1) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。  
 (注4) 単位未満は切捨て。

## ■ 主要な売買銘柄

### ○ 公社債

(2016年11月9日から2017年11月1日まで)

最 期		終 期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	銘 柄	銘 柄	銘 柄
	千円		千円
US TREASURY N/B 1.625% 2022/08/31	234,503	US TREASURY N/B 1.625% 2022/08/31	233,561
FNCL 4.5 8/17 2047/08/25	88,221	US TREASURY N/B 0.75% 2018/08/31	141,052
FNCL 4.5 9/17 2047/09/25	87,068	FNCL 4.5 9/17 2047/09/25	89,122
FNCL 4.5 7/17 2047/07/25	85,104	FNCL 4.5 8/17 2047/08/25	87,150
FNCL 4.5 4/17 2047/04/25	84,502	FNCL 4.5 6/17 2047/06/25	85,225
FNCL 4.5 5/17 2047/05/25	84,169	FNCL 4.5 7/17 2047/07/25	84,770
FNCL 4.5 6/17 2047/06/25	83,947	FNCL 4.5 4/17 2047/04/25	84,323
FNCL 4.5 10/17 2047/10/25	82,939	FNCL 4.5 5/17 2047/05/25	84,099
US TREASURY N/B 1.5% 2019/01/31	77,125	FNCL 4.5 10/17 2047/10/25	82,890
FNCL 4.5 3/17 2045/03/25	75,505	FNCL 2.5 12/16 2031/12/25	82,847

- (注1) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) 単位未満は切捨て。  
 (注3) 邦貨換算金額は月中の取引を各月末のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

## ■ 利害関係人との取引状況 (2016年11月9日から2017年11月1日まで)

当ファンドにおける当期中の利害関係人との取引はございません。

## ■組入資産の明細

最終期末（2017年11月1日現在）における当該事項はございません。

## ■投資信託財産の構成

（2017年11月1日現在）

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 425,586	100.0 %
投 資 信 託 財 産 総 額	425,586	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

## ■特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2017年11月1日現在）

項 目	償 還 時
a 資産	425,586,545円
コール・ローン等	425,586,545
b 負債	2,682
未払利息	1,165
その他未払費用	1,517
c 純資産総額(a - b)	425,583,863
元本	190,325,000
償還差損益金	235,258,863
d 受益権総口数	190,325,000口
1万口当たり償還価額(c / d)	22,360円90銭

（注1）信託財産に係る期首元本額436,638,481円、期中追加設定元本額7,262,754円、期中一部解約元本額253,576,235円

（注2）期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

損保ジャパン・TCW・MBSオープンAコース（為替ヘッジあり） 16,868,326円

損保ジャパン・TCW・MBSオープンBコース（為替ヘッジなし） 58,849,936円

損保ジャパン・TCW・MBSファンド（毎月分配型） 63,880,808円

スター・マンズリープラス 50,703,583円

損保ジャパン・TCW・MBSオープン（DC年金）Bコース（為替ヘッジなし） 22,347円

（注3）償還時における1口当たりの純資産総額 2.236090円

## ■損益の状況

（2016年11月9日から2017年11月1日まで）

項 目	最 終 期
a 配当等収益	37,344,100円
受取利息	19,762,713
その他収益金	17,642,216
支払利息	△ 60,829
b 有価証券売買損益	45,505,132
売買益	74,771,304
売買損	△ 29,266,172
c 信託報酬等	△ 940,752
d 当期損益金(a + b + c)	81,908,480
e 前期繰越損益金	453,827,104
f 解約差損益金	△309,153,967
g 追加信託差損益金	8,677,246
h 合計(d + e + f + g)	235,258,863
償還差損益金(h)	235,258,863

（注1）有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

（注3）解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

（注4）追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ■お知らせ

○運用上のベンチマークの名称変更にもない、投資信託約款に所要の変更を致しました（2016年12月20日）。